

スコットランド周遊～ アイラ島・スカイ島とフィンガル洞窟の旅

ご旅行期間とご旅行代金 [旅行代金には燃油サーチャージが含まれております]

2026年 6月1日(月)発～6月13日(土)着…¥948,000 お一人部屋利用追加料金 ¥122,000

フィンガル洞窟



- 初夏の美しい季節にグレンコー、スカイ島などハイランドを含むスコットランドを巡ります。
- メンデルスゾーンやジュール・ヴェルヌ、キーツ、ターナーなど多くの芸術家にインスピレーションを与えてきた自然の神祕フィンガルの洞窟にご案内します。
- ハイランドを代表する古城である崖に聳えるダノーター城、幻想的なアイリーン・ドナン城を訪れます。
- スコット・シングルモルトのふるさと、アイラ島を観光します。
- グラスゴー、オーバン、スカイ島に連泊です。
- ウォレス・モニュメント、セント・アンドリュース、ロスリン礼拝堂など、他にもスコットランドらしい訪問地満載です。

アイリーンドナン城



ポートリー[スカイ島]



フィンガル洞窟

フィンガル洞窟はスコットランドのインナー・ヘブリディーズ諸島の無人島スタッフア島にある洞窟(海食洞)です。六角柱状の柱状節理が発達した玄武岩で形成されており、同じく古い溶岩流が発達した北アイルランドのジャイアンツ・コーズウェイの柱状節理と同じ構造のものです。柱状節理は高温の溶岩が冷える過程で、六角形の割れ目が生じるためにできます。溶岩が冷えて縮むにつれ、ひび割れが表面から徐々に溶岩内部に伸び、六角形の柱群を形成されます。そして、これが後に波浪の浸食を受けて洞窟が形成された場所がフィンガルの洞窟です。

その大きさとアーチ状に曲がった天井、そして波のこだまが生みだす不気味な音色は、天然の大聖堂のようで、古くは「歌の洞窟」と呼ばれていました。この洞窟が知られるようになったのは 18 世紀頃ですが、特に観光地として有名になったのは、作曲家メンデルスゾーンが 1829 年にこの地を訪れ、洞窟の中の不気味なこだまに靈感を得て、演奏会用序曲『ヘブリディーズ諸島(フィンガルの洞窟)』作品を作曲してからです。作家のジュール・ヴェルヌ、ウォルター・スコット、詩人のワーズワース、キーツ、テニスンらも訪れ、画家ターナーは 1832 年に『スタッフア島、フィンガルの洞窟』を描きました。メンデルスゾーンと親交のあったヴィクトリア女王もこの地を訪れたといいます。

洞窟には大きな入り口があり、海水が満ちていますが小舟で入って行くことはできません。夏季のみ、遊覧船が運航されて、島に上陸して陸路で洞窟まで歩いていきます。柱状節理が割れてできた岩棚が満潮位よりも上にあるため、ここを伝って徒歩で散策することができます。洞窟内からは、水平線のかなたに浮かんだ聖地アイオナ島の景色が楽しめます。

スコットランドの魅力は ハイランドにあり

英国北部のスコットランドは独自の通貨や議会を持ち、サッカー、ラグビーのワールドカップにも一国として出場する、ある意味での独立国です。そのスコットランドではネス湖のある北部のハイランド(高地地域)とエジンバラやグラスゴーに代表される南部のローランド(低地地域)に分けられます。ローランドの方が人口も多く、比較的イングランドの雰囲気につい印象を受けますが、ハイランドは人口が少なく、雄大な手付かずの自然がそのまま残されています。岩山が多いためごつごつした荒々しさと、天候の安定しない寒々しさが印象深い土地ではありますが、幻想的でなぜか暖かく、何度も訪れてみたい気持ちに支えてくれる不思議な場所です。

今回はそんな魅力的なスコットランドだけに滞在し、有名な訪問地に加え、通常のツアーではなかなか訪れる機会の少ないウイスキーの島・アイラ島、伝統文化と美しい自然のスカイ島、断崖に残る廃城ダノーター城などにも足を延ばします。「景観そのものが心の琴線に触れる土地」スコットランドの魅力を凝縮したこのコースに是非ご参加ください。

ご利用予定ホテル

- グラスゴー／ジュリーズ・イン、グランド・セントラル、メルキュール
 - アイラ島／ジ・アイラ、ロックサイド、ボウ モアホテル
 - フォート・ウイリアム／ベスト・ウエスタン・インペリアル、アレクサン德拉
 - オーバン近郊／ザ・ロイヤル、グレート・ウエスタン、キングス・ノール、コロンバホテル、オーバン・ベイ、ザ・スコット
 - スカイ島／ボスヴィル、ポートリー
 - インヴァネス／アルドコンネル、ロイヤル・ハイランド、シスル、ラマダ
 - アバディーン／アバディーン・アルテンズ、パークイン、クレイガー
 - エジンバラ／ロイヤル・テラス、ホリディ・イン、エイバックス・インターナショナル、ラディソン、マクドナルド・ホールドールードホテル
- ※上記ホテルまたは同等クラスとなります。

ご旅行条件

- 募集人数/12名様
 - 最少催行人数/**6名様**
 - お食事/朝食10回・昼食 5 回・夕食 10 回
 - 旅券残存期間/3ヶ月以上
 - 羽田空港使用料/¥4,140(別途必要)
 - 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
 - 国際観光旅客税[出国税]/¥1,000(別途必要)
 - UK ETA(イギリス事前電子渡航認証システム)/¥9,500(別途必要)
 - カラー写真(3.5cm×4.5cm)必要
 - トランク往復無料託送サービス
[ご自宅～空港～ご自宅]
 - 東京発着/¥15,000引き
 - 大阪・中部・福岡発着/同一料金
- ※ビジネス料金はお問合せ下さい。

都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1 千歳 羽田	スーツケース無料託送サービス ご自宅～空港 ■夕刻、千歳空港より航空機にて、羽田空港へ。 ■深夜、エミレーツ航空にて、ドバイへ[00:05発]。 □・□・□・□[機中泊]
2 ドバイ グラスゴー	■朝、ドバイ到着後、エミレーツ航空を乗り継ぎ、スコットランド最大の都市・グラスゴーへ[12:45着]。 『グラスゴーに連泊です』 □・□・□[グラスゴー泊]
3 (ウォレス・モニュメント) グラスゴー	■午前、専用バスにて、スタークリフ近郊に位置し、スコットランドの英雄ウイリアム・ウォレスを記念して建てられたウォレス・モニュメントへご案内します。 ■午後、グラスゴー市内観光。ゴシック様式の美しいグラスゴー大聖堂、イギリス最古の大学の一つ・グラスゴー大学などへご案内します。 □・□・□[グラスゴー泊]
4 グラスゴー アイラ島	■午前、キンタイア半島を経由して、専用バスとフェリーにて、ピートの香り豊かなアイラ・モルトウイスキーのふるさとアイラ島へ。 ■着後、海の香りを含んだ豊かなビート香で人気のシングルモルト・ウイスキー蒸留所へご案内します。 □・□・□[アイラ島泊]
5 アイラ島 オーバン	■午前、引き続きアイラ島をご案内します。アイラ・モルトの蒸留所訪問やキルダルトン教会跡にて、スコットランドの初期キリスト教のハイクロスもご覧いただけます。 ■午後、フェリーにて、ケレラ海峡に面したハイランドの港町・オーバンへ。 『オーバンに連泊です』 □・□・□[オーバン泊]
6 オーバン (マル島) (スタッフア島) フィンガル洞窟	■終日、フェリーにて、インナー・ヘブリディーズ諸島の、野鳥と巨石文明の島・マル島と無人島スタッフア島の『フィンガル洞窟』へご案内します。 ■フィンガル洞窟では1時間ほど下船いたします。ここ六角柱は満潮時でも海面よりも高い為、洞窟内も歩くことができます。そのスケール、アーチ状の天井、こだまのように響きわたる波の不思議な音は、まるで自然の大聖堂のようです(注1)。 □・□・□[オーバン泊]
7 オーバン ストーカー城 グレンコー スカイ島	■専用バスにて、ハイランドツアーを楽しみながら、今も残るゲール語の世界・スカイ島へ。 ★午前、リニ湾に浮かぶ絵画的な古城・ストーカー城(外観)をご覧いただき、その後、『スコットランドのアルプス』と呼ばれる雄大な原野と美しい緑の谷が広がるグレンコーを走り、スコットランド最高峰ベン・ネヴィス[標高1,344m]の麓の町フォート・ウイリアムに立ち寄ります。 ★午後、専用バスにて、ロヒー湖沿いに走り、スカイ島との海峡に面したカイル・オブ・ロッホアルシユへ。その後、伝統文化が今も残るスカイ島へ。 ■夜、ご希望の方は地元の人々で賑わうパブへご案内します。 『スカイ島に連泊です』 □・□・□[スカイ島泊]
8 スカイ島 (ポートリー)	■終日、『翼の島』スカイ島の観光。 ★切り立った岩山が見事なオールドマン・オブ・ストールの眺望や、キルト・ロックなど雄大な自然をご堪能ください。天候が良ければ、エメラルドグリーン色の美しい妖精のプールへご案内します(往復1時間30分の道をハイキングいたします)。また、パステルカラーの港町ポートリーの散策もお楽しみください。 □・□・□[スカイ島泊]
9 スカイ島 アイリーンドナン城 ネス湖 インヴァネス	■午前、ロッホアルシユ海峡の橋を渡り、デュイック湖に浮かぶ幻想的なアイリーンドナン城(外観)に立寄り、ネス湖畔の廃墟と化した古城アーカート城へご案内します。美しいネス湖とのコントラストが見事です。 ■夕刻、ハイランド最大の街・インヴァネスへ。 ■夜、ご希望の方は地元の人々で賑わうパブへご案内します。 □・□・□[インヴァネス泊]
10 インヴァネス セント・アンドリュース エジンバラ	■午前、専用バスにて、ゴルフのメッカ・セント・アンドリュースへ。世界最古のゴルフコース「オールド・コース」や、セント・アンドリュース大聖堂をご案内します。その後、渡邊嘉一氏が現場監督を任せられた世界遺産フォース橋を車窓からご覧いただいたのち、エジンバラへ。 □・□・□[エジンバラ泊]
11 (ロスリン) エジンバラ ドバイ	■午前、世界で最も奇妙なキリスト教建築の一つで、エジンバラ郊外に位置するロスリン礼拝堂へご案内します。 ■その後、世界遺産エジンバラ旧市街の観光。巨大な岩山の上に築かれたエジンバラ城、エジンバラの中心部が一望できるカルトントンなどを訪れます。また、エジンバラ城と王室の宮殿とを結ぶロイヤル・マイルにて、のんびりとショッピングなどをお楽しみください。 ■夜、エミレーツ航空にてドバイを経由し、帰国の途へ[21:50発]。 □・□・□[機中泊]
12 成田	■夕刻、成田空港到着[17:35 着]。 ■着後、ホテルバスにて空港近郊のホテルへ。 □・□・□[成田空港近郊泊]
13 成田 千歳	■午前、航空機にて千歳へ。 ■着後、解散[13:00 着]。 スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅 □・□・□

※右記の時間は、すべて現地時間で表示されております。
※右記の「○」はお食事の有無を示します。「×」は機内食、「△」は食事は含まれておりません。
※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスをお受けになられるよう万全の手配努力を致します。

(注1)島へは混載ツアーとなります。波の影響でマル島とスタッフア島に行けない場合は、オーバン近郊の観光へ変更させていただきます。予めお含みおきください。